

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	株式会社 六匠	代表者	北村 拓人	法人・事業所の 特徴	「一人ひとりの笑顔・思い・願いを大切に安心して暮らせる場所を地域で築きます」 「継続的に支え合い助け合うことで、ささいなことや気持ちの変化を見逃さず、心に届くサービスを提供します」を理念としています。「ひもときシート」を活用し、職員全員で利用者のひもときシートを作成し、職員全員が利用者の思いや暮らし方の希望、意向を把握できるように努力しています。
事業所名	時間の奏	管理者	松川 恵		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	人	2人	2人	人	1人	1人	人	4人	1人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			<ul style="list-style-type: none"> ・内容が地域性に沿っていないものがあり答えにくかった。 ・回答の際の基準を決めて答えるようにしないと正確な回答が得られにくい設問が多かった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己評価項目の内容を変更する。 ①地域性を考慮した内容にして、評価しやすいものにする。 ②個人的な評価項目と事業所としての評価項目を明確にする。
B. 事業所のしつらえ・環境			<ul style="list-style-type: none"> ・来客時に職員が業務から手を離せずすぐに玄関まで出てこれないことがある。 ・夜間以外は玄関の施錠をしないことになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関まで出られない時は、インターホンで来客対応するようにする。 ・定期的な換気や消臭剤の使用で、意識的に匂いを防ぐようにする。
C. 事業所と地域のかかわり			<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の活動自体が盛んではない。 ・地域への認知度は「介護施設」やな、くらい。 ・今まで通りの参加状況でよいのでは？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報紙の配布もしくは掲示板への貼り出しについて、自治会に再度働きかけてみる。 ・広報紙にいれる文言を検討し、営業目的での配布でないことを明確にした内容にする。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・そもそも地域から相談に来られても、地域包括支援センターにつなぐお手伝いをする程度で、事業所が主体となって相談受付をすることはない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の方の介護に係る心配事を相談できる場所であることは、広報紙などを通して伝えていく。相談に来られたら地域包括支援センターにつなぐお手伝いをする事とする。
E. 運営推進会議を活かした取組み			<ul style="list-style-type: none"> ・地域として、地域の心配な方の情報を共有するような仕組みにはなっていない。 ・地域の事情によって、住民と事業所が深く関われるか否かが変わってくる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の議事録を職員が閲覧しやすいような工夫をする。 ・運営推進会議での報告内容の見直しを行う。
F. 事業所の防災・災害対策			<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を地域に提示していなかった。 ・地域で防災・災害時に関する組織づくりを行っているので、防災訓練時に事業所としての関わり方を相談していけばどうか？ 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災計画を事業所の見やすい場所に設置し、提示するようにする。 ・災害非難時の具体的マニュアルを作成する。